

## GC/SAW高速分析システムによる 粉ミルクの測定 - 1



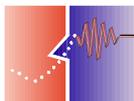
zNoseは食品の品質管理に欠くことのできない分析システムです。右図の『EST Model 7100 デスクトップ・タイプ』では、濃縮装置、ヘリウム・ボンベ、その他、コンピュータ以外の全ての装置をこの小型ケースに詰め込みました。ヘリウム一回の充填で300回の測定が可能です。

ここでは、『Model 7100』の半揮発性物質検出用カラムをつかい、メーカーの異なる5種類の粉ミルクの判別実験をしました。測定は、それぞれの粉ミルク10グラムをバイアル(40mL)にいれ、ヘッド・スペース法で測定をしました。

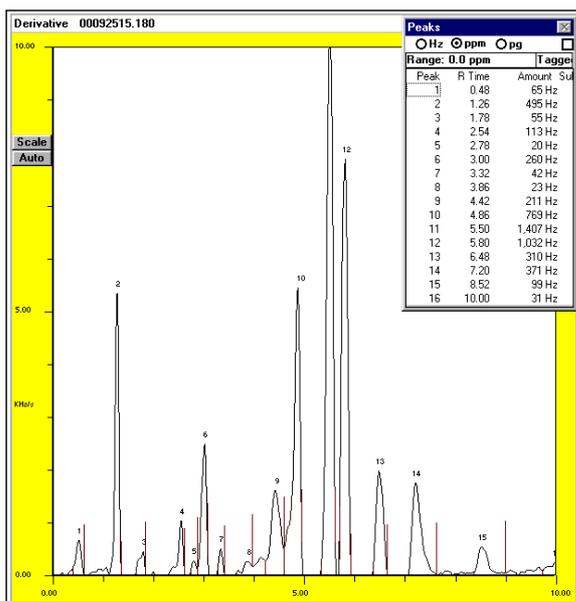
### 測定結果

以下のページにサンプル毎のクロマトグラムと滝型グラフによる比較データを表示する。測定の結果、5種類の粉ミルクの判別を行うことができた。

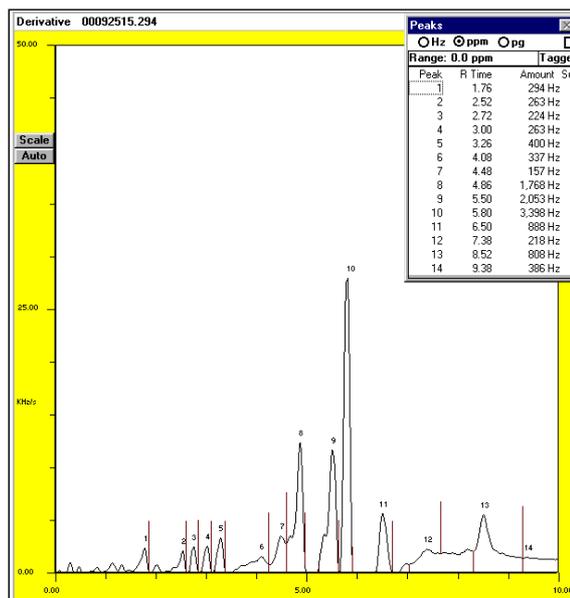
サンプルNo.1 は、保持時間5.8sec.のピークが他のサンプルに比較し小さい。  
サンプルNo.2 は、保持時間1.08sec.付近にピークが見あたらない。  
サンプルNo.3 は、保持時間1.08、2.72、3.0、3.26sec.のピークが比較的大きい。  
サンプルNo.4 は、保持時間4.4sec.のピークが大きい。  
サンプルNo.5 は、保持時間5.8sec.のピークが大きい。



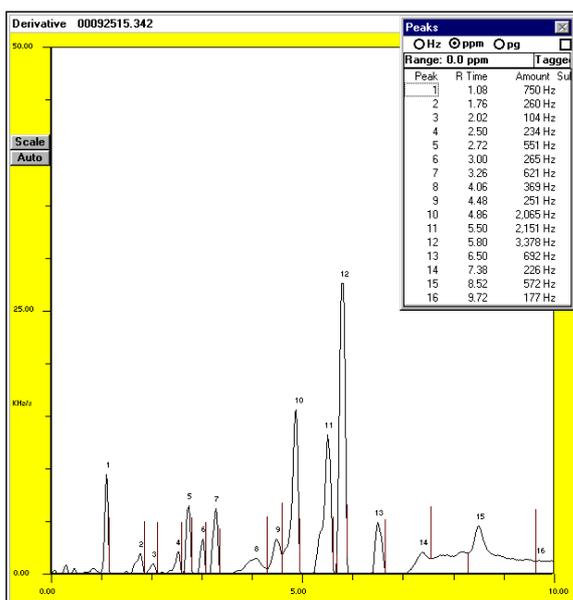
# GC/SAW高速分析システムによる 粉ミルクの測定 クロマトグラフ表示 - 2



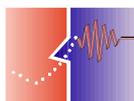
サンプルNo.1



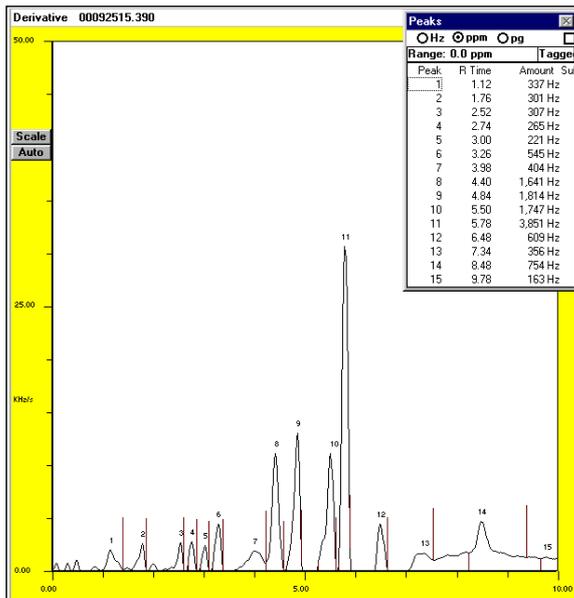
サンプルNo.2



サンプルNo.3

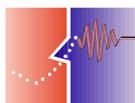
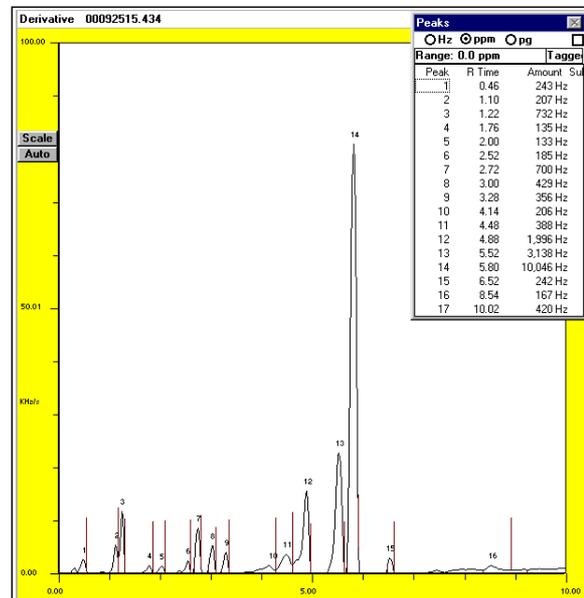


# GC/SAW高速分析システムによる 粉ミルクの測定 クロマトグラフ表示 - 3



サンプルNo.4

サンプルNo.5



# GC/SAW高速分析システムによる 粉ミルクの測定 滝型グラフ比較 - 4

